

1月13日(木) 第7回

投資のベースキャンプ

ゲスト 志摩カ男さん

アメリカ景気が世界に影響を与える!?! ~指標編~

世界経済の中核 ... 貿易通貨は米ドル中心。米国企業が世界で活躍。

2022年1月発表のアメリカの重要経済指標をチェック

↳ 「経済カレンダー」(世界中の主な経済指標を) で検索!! (確認できる!!)

- ・ 12月非農業部門雇用者数変化 重要度 ★★ ← (星の数が重要度を示し、0~3個まであり、1つが2つが重要!!!)
- 予想 40万人 / 結果 19.9万人
- ・ 12月失業率 重要度 ★★
- 予想 4.1% / 結果 3.9%

⇒ 雇用統計発表後の株価の反応は?

- ・ NYダウ (前日比 -0.01%) 横ばい 円安無し
- ・ S&P500 (前日比 -0.41%)
- ・ NASDAQ (前日比 -0.96%) 共に下げた

「経済カレンダーをチェックして波乱に備えよ」

by グローバルファイナンシャルスクール 市川雄一郎 校長

過去の米政策金利上昇からみる株と為替

→ 過去を振り返ると 金利上昇 = 株価下落 に繋がってるわけではない!!

(株) シフトチェンジが起こる!?

金融相場から業績相場へ

グロース株からバリュー株へ 資金のシフト

(為替) 米金利上昇 = ドル高 → 昔はドルロングがないと投機的ポジション少ない

株価下落 = 「リスクオフの円高」 両者のバランスでドル円相場が決まる

実質実効為替レート (円の強さ) 現在は1980年当時より 円安水準 (円が弱い)

→ 円の絶対水準は極めて安い! → 購買力平価では 85円前後が適正?

一方で、金融政策の方向はドル高円安 ... ドル円は120円超え!?

どちらに進むのが...?

まとめ 米利上げは必ずしもドル高を意味せず

ドル円の方角性を決めるのは、その時の経済、市場環境